

# MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE

むさしのパークライフマガジン

MPM

2022  
SPRING  
SUMMER  
VOL.16

YOUR PARK LIFE : ParkLife × プランツ

FOCUS : 近づいていくと見えてくる  
身近な植物の深遠なる世界

公園からはじまる、気持ちのいい一日。

季節を感じ、ほっとできる場所。

なにもしない、贅沢な時間。

……きっと、公園で過ごす時間は暮らしを豊かにする。

私たちは、そんなことを思っ日々公園で働いています。

公園を使いこなすと、どんなライフスタイルが待っているのか。

この「MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE」では、

ちょっと素敵な自然のこと、

いままで気づかなかった生きものの不思議、

暮らしを豊かにする公園の使いこなし方、などなど。

公園で働く私たちだからこそお届けできる、

“パークライフ (Park Life)”の魅力をお伝えしていきます。







「木陰で揺れるネオイズミレ」都立野川公園



公園の植物に  
こんなに驚きとときめきに満ちた  
世界があったなんて！

# Park Life

×

# プランツ

公園に春が訪れ、木々が青々と茂り、  
原っぱで草花が風になびく風景はとても気持ちがいいものです。  
その青々とした葉っぱや、足元で踏まれている草花に  
ずんずん近寄ってみてください。  
葉っぱだけでもフワフワの毛が生えていたり、  
キラキラのビーズを纏っていたり、  
花に至ってはびっくりするほど多様な色や形があることに気がきます。  
普段何気なく通り過ぎている公園の植物たちですが、  
植物観察のスペシャリストと一緒に探検すると、  
魅力的なワンダーランドへと大変身しちゃうのです！





植物観察家・鈴木 純さんと一緒に  
公園の植物をよ〜く見てみよう！



鈴木 純 すずき じゅん

1986年東京生まれ。東京農業大学で造園学を学んだのち、青年海外協力隊に参加。帰国後、旅行会社で植物のガイドツアーを企画運営。2018年独立。

身近な植物の観察をまとめた著書「そんなふう生きていたのね まちの植物のせかい」「種から種へ 命つながるお野菜の一生」を出版。2021年第47回造園大賞受賞



四季の変化を  
観察する

## 公園の木は1年で 姿がくるくる大変身!

公園での植物観察は、ひとつの樹木を定点観察  
できることが魅力です。たとえば、武蔵国分寺  
公園のユリノキなら、1年間でどのような変化を  
見せてくれるのでしょうか。一緒に見ていきましょう!

都立武蔵国分寺公園



これは一体  
なんでしょう。

12月から  
2月

葉っぱが落ちてすっかり寂しげな  
様子になったユリノキ。  
その枝先を見ると、おや? なにや  
らスペースしたキャップのようなも  
のがついています。

3月



暖かくなってきた頃にまた枝先を  
見ると、今度はキャップが取れて、  
なかから小さな葉っぱが出てきて  
いました。冬のキャップは、葉っ  
ぱを隠していた芽だったようです。

ゆらゆら～

4月

どんどん出てくる葉っぱ。  
風にゆられて踊っているみたい!



ユリノキは、1年でその姿をコロコロと変えるので、定点観察にはもってこいの樹木です。春には、ひらひらと手をふる新緑に癒され、初夏には直径5〜6センチほどの大きな花にびっくり。そして秋にはクルクル回って落ちてくる細長い実を楽しむことができます。そして冬になるとその枝先にキャップがついていることを発見。このキャップの秘密は…？と考えていると、あっという間に季節がひとめぐり！

はんでんのような形をした葉っぱが出そろうと…、5月ー！ お花が咲いた！



5月



11月以降

おや？  
気付けば花が実になっているぞ。  
ちょっと触ってみよう。



あれれ、ぼろぼろっと崩れてしまいました。  
ユリノキの実は、細長い実の集合体だったようです。  
この実のひとつひとつはクルクルと回って落ちる仕組みになっているので、冬のプロペラ遊びにはもってこい！

春の新芽の違い  
を比べてみる

## 春風に吹かれて 新しい緑のオンパレード！

公園には様々な樹木が植えられているので、個性豊かな新緑を一気にたのしむことができます。観察方法は簡単。枝先に近づくだけです。新緑の美術館をたのしみましょう！



### ケヤキ

つやつやで新鮮な緑色。

これぞ新緑！と思わせるケヤキの芽吹きです。よく見ると、複数の葉っぱが枝にくっついて出てきているの分かります。多くの樹木は、こうして1年分の葉っぱを春に一気に出すように出来ています。



### コナラ

柔らかな毛に包まれて出てくるコナラの若葉。新緑といえば、文字通りの緑色というイメージがあるなかで、銀白色から淡緑色をしたコナラの新緑には目を奪われます。

ん～、美しい！



## イチヨウ

イチヨウの芽吹きに近寄れば、  
わわわ、葉っぱの赤ちゃんがたっくん！  
もうこの時点ですでに扇形をしているのですね。



可愛いなあ～



## エノキ

独特な色をしたエノキの芽吹きを観察していると、なにやら葉っぱとはちがうものが一緒に出てきていることに気が付きました。近付いて確かめると、どうやらこれはお花のようです。せっかく咲いていてもなかなか気付かれないエノキの花。ぜひ探してみてください。



よっ、  
収納上手！

## イロハモミジ

イロハモミジも、芽吹きの際にはすでにモミジ型をしています。この複雑な形がどのように小さな芽のなかに入っているのかというと…。  
なんと、ジャバラ折りになって待機していたようです。

## 原っぱに必ず生えている オオバコの生き残り戦略！

場所が変わると、生える草の種類も変わるのが植物観察のおもしろいところ。

日当たりの良い場所にはどんな草が生えているのだろうかとか、木が多く生えている場所ならどうだろうかとか、公園のなかの多様な環境を見比べてみるのも楽しい観察になります。

身近な草木を  
じっと見る

都立六仙公園



たとえば、公園のなかで人がよく歩く広場に注目。こんなに踏みつけられてしまったら、草だって生きていけないのではないかなと思ってしまいますが、こんな場所だってよく見てみれば…。



オオバコがたくさん生えています。  
しかも、こう見えて花を咲かせています。





△△

さんかくのぼうしが  
いっぱい!

花が終わると、  
実が穂状にたくさんつきました。

このさんかくぼうしを取ってみると、  
あらっ。中から種がポロポロ出てきました。



ぱかっ

ここで実験!

取り出した種に水をかけて  
みましょう。すると…。  
わっ! ネバナバしてる!



ねばあ〜

じつはこれが、オオバコの  
作戦です。  
雨あがりに人がオオバコを踏  
むと、粘着性を持った種が足  
の裏にベタつくつきます。  
そして私たちは気付かぬうち  
にオオバコの種をよそへと運ん  
でいるのです。



オオバコの葉っぱは踏まれても簡単にはダメにならないような  
強さを持っています。

つまり、オオバコはあえて踏まれることによって、自分の陣地を  
拡大しようという驚きの作戦を持っていたのです。

これが、人がよく歩く広場にオオバコがたくさん生えている理由  
です。たまには足をとめて、オオバコにも注目してあげてください。

## 近づいていくと見えてくる 身近な植物の深遠なる世界

路上や街中と同じように、普段から公園での植物観察も楽しんでいるという鈴木 純さん。「路上と公園では出会える植物が違うので、楽しみ方も変わります」。そう話す鈴木さんに、公園での植物観察の魅力についてパークレンジャーがお話を伺いました。

山田：鈴木さんならではの、公園での植物観察の楽しみ方があったら教えてください。

鈴木：植物に興味を持った人が最初に感じる壁は、名前がわからない、ということだと思うんです。そういう方におすすめののが、公園での植物観察。公園にある樹木には樹名板がついているから、名前を知らなくてもそこで学ぶことができます。植物を楽しむための最初の一步として、公園はとても見やすい場所だと思います。



山田陽子 やまだ ようこ

公園内の自然環境を見守り、観察ガイドなどもする野川公園自然観察センターのパークレンジャー。

山田：自然や植物に触れたいと感じた時、多くの人は、遠出をつい考えてしまうと思うのですが、公園にもいろんな植物や自然があります。公園など身近な場所にある自然に親しみを覚えると、日常に愛おしい世界が広がり、人は豊かな暮らしを築けるんじゃないかなと思うんです。

鈴木：公園は空間的にも多様だし、都市の中でもさまざまな生きものが共生することができる、最後の砦だと思うんです。人にとって余分なものを排除しているのが都市で、平らに作られた道の



どこに植物がいるのかなと探すと、アスファルトの窪みくらいでしか見つけることができない。でも、公園に来ると多くの植物や虫や鳥に出会うことができ、この世界に生きているのは人間だけじゃないんだな、と思いがちですね。

山田：公園に来たみなさんにおすすめしたいのは、ひとつ植物を見つけたら、そこからつながる生きものを探してほしいということです。植物をひとつよく観察すると、そこに小さな虫がいて、その虫を食べる別の生きものがいて…と生きものつながりが見えてくる。それは、必ず自分の暮らしに返ってきて、人も自然のつながりの中で生きているんだなって感じます。



クスノキは新緑のときに若草色の新芽と、青々と成長した緑の葉、もうすぐ落葉する紅葉の3世代が揃う。

鈴木：植物をよく観察することで、世界を深く広げて考えていくことを僕は楽しんでいるんですけど、そういう探求していく視点を一度自分の中に入れて、他の分野でもなんでも楽しめますよね。あと、僕が最近感じているのは、植物を通せば世代を超えた人たちとコミュニケーションが取れるんです。今の社会って、時代の進むスピードが早すぎて、世代が変わってしまうと共通の話題がなくなるじゃないですか。でも、植物はどの時代を生きてきた人にとっても、基本的に変わっていない。例えば、子どもたちが年配の方に植物の質問をすると、それがひとつのコミュニケーションになると思うんです。僕も全国各地に、植物を通した幅広い世代の知り合いがいます！

山田：確かに、ゆっくりと進化はしているかもしれないけど、基本的に植物の生き方は変わっていないですね。世代を超えた共通項なんですね、植物は。

鈴木：いつの時代も同じ速度で生きているのも、植物の魅力ですよ。僕たち人間は、「進化しないと」「人より先に進まない」という生き方をしてしまうけど、植物を見ると、春に芽吹いて、夏に花を咲かせて、秋に実をつけて、冬に葉っぱを落として…ということを繰り返しながら、何億年も生きている。

山田：公園の植物を見てみると、身近なところでも宇宙のように深い世界が広がっていたんだと驚きますし、ありのまま生きている植物たちを見ると、自分らしい生き方に向き合わせてくれる気がします。暮らしのそばでこうしたいろいろな気づきを体験できることが、公園の植物観察の魅力かもしれませんね。

植物観察家・鈴木純さんの著作紹介



「種から種へ  
命つながるお野菜の一生」  
(雷鳥社)

毎日食べている野菜も植物。見慣れた姿はその命のほんの一コマです。種から成長する野菜の一生は驚きに満ちていました。開くとポスターに変身するカバーにも注目！

「そんなふう生きていたのね  
まちなかの植物のせいかい」  
(雷鳥社)

いつも何気なく見ている道ばたの植物たちにずんずん近づいてみると、びっくりするほど多様な生態に出会えます。植物観察の楽しさにハマること間違いなしの1冊。

公園の生きものを  
もっと楽しむアイテム



レンジャーミニ図鑑

「むさしの都立公園」で見られる花や昆虫・野鳥などの生きものをパークレンジャーがまとめたミニ図鑑です。現在は25種類あり、季節に合わせて各管理所で無料配布しています。ぜひレンジャーミニ図鑑を持って、公園の自然観察を楽しんでくださいね♪  
どんな生きものと出会えるかな？

樹木観察マップ

公園内のオススメの樹木を紹介した観察マップです。現在は、武蔵野公園、野川公園、武蔵国分寺公園の3公園で発行しており、各管理所で無料配布しています。マップに記載されている樹木の多くは、樹名板がついています。パークレンジャーオススメの観察コースも紹介しているので、ぜひまわっててくださいね♪



レンジャーミニ図鑑・  
樹木観察マップの  
ダウンロードはこちら





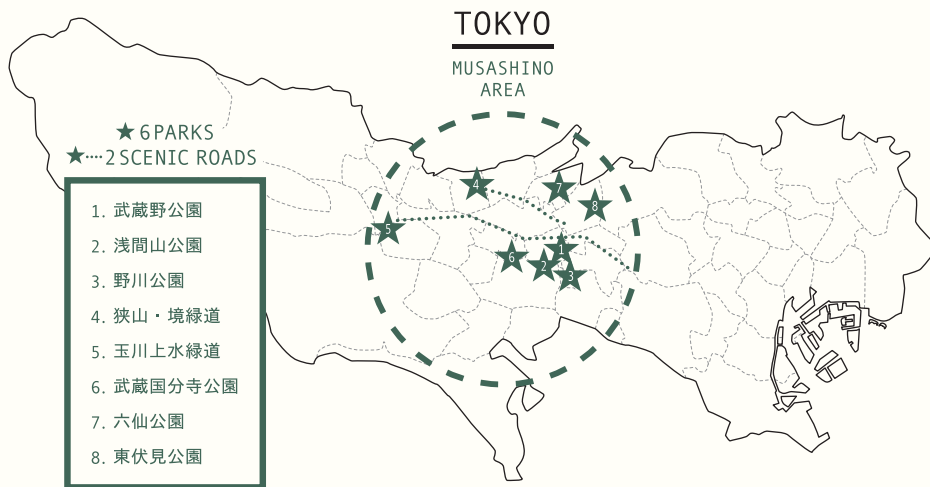
## むさしのの都立公園

水とみどり豊かな「武蔵野エリア」にある8つの都立公園です。

指定管理者「西武・武蔵野パートナーズ」は「人・自然・まちが元気になる公園に」をコンセプトに、武蔵野の自然と文化を大切にしながら、みなさんとともに、元気になる公園づくりをすすめています。

西武・武蔵野パートナーズ構成団体：

西武造園(株)・NPO法人NPO birth・ミズノスポーツサービス(株)・(一社)防災教育普及協会



発行：西武・武蔵野パートナーズ TEL:0422-31-6457(都立野川公園) <http://musashinoparks.com>

発行日：2022年3月30日

写真・文：鈴木 純 P6~11

デザイン：川上 明子

文：安達友絵 P12~13

写真：NPO法人NPO birth / 鈴木 純 P13下 / 井上 茂 P5下、P6上、P10上、P12、P13上、P14上

編集・製作：西武・武蔵野パートナーズ / はけの道編集室 (合同会社ニーヨリー)

印刷・製本：シナノ書籍印刷株式会社

表紙写真/都立浅間山公園「伐採された切り株から株立ちした幹が成長したイヌザクラ」(撮影：NPO法人NPO birth)

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINEのバックナンバーは、むさしのの都立公園のHPで見ることができます。  
<http://musashinoparks.com/magazine/>



MUSASHINO  
PARK-LIFE  
MAGAZINE

SEIBU・MUSASHINO PARTNERS

<http://musashinoparks.com>